

据付説明書

家庭用 全自動洗濯機

型番: SW-K45A/SW-K55A

4. 給水ホースの取り付け

■水栓の確認

横水栓 角口水栓 自在水栓 万能ホーム水栓 ワンタッチ給水栓



※自在水栓、万能ホーム水栓、ワンタッチ給水栓に取り付けの場合は、市販の「給水栓ジョイント」を使用してください。

●水栓の形状は、横水栓が適しています

■ホース継手を水栓に取り付ける

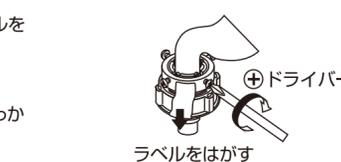
1 水栓の直径を確認する
●直径が18mm以上のときは、継手リングを外します。



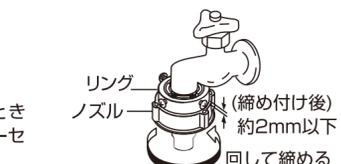
2 ホース継手の4本のネジをゆるめる
●パッキンがあることを確認する



3 ホース継手を蛇口に押し当て、ネジ4本を均等に締める。締めた後ラベルをはがす
●ノズルとリングのすき間が約4mmであることを確認してください。
●壁側のネジ1本をあらかじめ調整しておくことで取り付けやすくなります。
●取り付けるときは、水栓がパッキンの中心になるようにネジを均等にしっかりと締め付けてください。

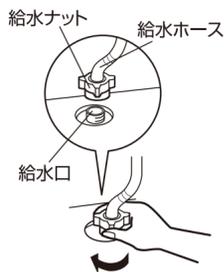


4 ノズルを右に回して締め付ける
ノズルとリングのすき間が2mm以下であることを確認する
●ノズルとリングのすき間が広いと水漏れのおそれがあります。
●使用中に水漏れするときは、ノズルをさらに締め付けてください。
●継手のネジやノズルをさらに締め付けたり、付け直しても水漏れするときは、ホース継手を取り換えてください。取り換えについてはカスタマーセンターへご相談ください。



■給水ホースを本体の給水口に取り付ける

●給水ホースの先についている給水口ナットを本体の給水口のネジにかぶせて、しっかり締め付けます。
●給水ホースと付属品のホース継手を確実に取り付けないと、水漏れの原因になります。
●水栓への給水ホースの取り付けには、必ず付属品の「ホース継手」を使用してください。
※取り付けが確実にできないうちや、水漏れが発生するときは、お買い上げの販売店、またはカスタマーセンターにご相談ください。
※給水ホースを延長するときは、市販の給水延長ホースを使用してください。



■給水ホースと継手の取り付けかた

1 スライダーを押し下げながら、継手に差し込む
2 スライダーを離して、「パチン」と音がするまで給水ホースを押し上げる
●給水ホースのロックレバーが、継手のツバ部にしっかり掛かっていることを確認してください。
●給水ホースをひっぱり、抜けないことを確認してください。
●本体の電源は入れないで、水栓を開きホース継手などから水漏れがないことを確認してください。



■給水ホースの外しかた

1 水栓を閉める
2 つめを外し、スライダーを押し下げながら、給水ホースを外す
●水を通した後ホースをはさずと水が飛び散ります。

注意

洗濯前に水栓を開き、給水ホース接続部のゆるみや水漏れのないことを確認する。ネジやホース接続などがゆるんでいると、水漏れして床などの家屋や家具などをぬらしたり、破損したりすることがあります。

お願い

●確認終了後は、必ず水栓を閉めてください。
●水栓が合わない場合は、お買い上げの販売店、またはカスタマーセンターへご相談ください。
●給湯器設備には取り付けしないでください。

5. 水平・ガタつきの確認と調整

■設置するときには、本体が水平になるように調整し、ガタつかないように脚で調整してください。本体手前の右側の脚が調整可能です。
■設置場所が狭く調整しにくいときは、設置場所の手前で一旦調整しておき、設置後に再調整することをおすすめします。

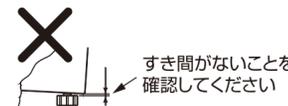
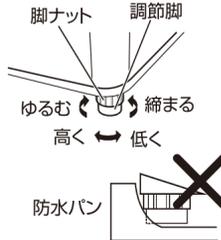
注意

禁止
●本体底面に手や足などを入れない回転部などがあたり、ケガをするおそれがあります。

■脚の調整は、本体の上部を支えながら行ってください。本体底部は持たないでください。

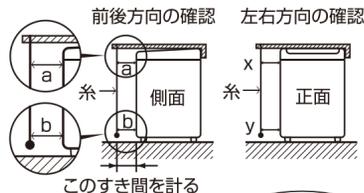
1 ガタつかないよう脚を調整する

●調整した後は必ず脚ナットを「締まる」方向に回してしっかり固定してください。また、本体前側の底部が床に当たったり、防水パンのコーナー部などに乗り上げたりしないようにしてください。振動や異常音の原因になります。



2 本体が水平になっているか確認する

●おもりを付けた糸を下げます。a, b および x, y の隙間が1cm 以下になるように調整します。



3 本体の対角線上の角を押し、ガタつきがないか確認する

●ガタつきがあると振動が大きくなったり、異常音が出たりします。ガタつきがあるときは、もう一度調整してください。



6. アース線の取り付け

警告

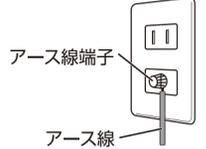
アース線 取り付け

●アース線を取り付けること (漏電時に感電する原因)
アース工事は、必ず販売店に依頼してください。

お願い

●ガス管、電話線や避雷針、水道管にはアースを取り付けしないでください。(法令で定められています)

■感電防止のために、アース線をアース端子に取り付ける
●アース線を取り付けるときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。



■アース端子がないときは
●電気工事店、またはお買い上げの販売店にアース端子の設置工事をご依頼ください。アースは法令により、電気工事士によるD種接地工事が義務付けられています。(有料)

7. 電源コードの接続

警告

次のことはしてはいけない「禁止」内容です。(火災・感電・けがの原因)

禁止

- 傷んだ電源コード・電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わない
- 電源プラグはぬれた手で抜き差ししない
- 電源コードを傷付けない・破損させない・加工しない・引っ張ったり、無理に曲げたりしない・ねじったり束ねたりしない・重いものを載せたり、はさみ込んだりしない
- 延長コードの使用、テーブルタップなどによるタコ足配線はしない
- 金属のものに引っ掛けない・熱器具に近づけない

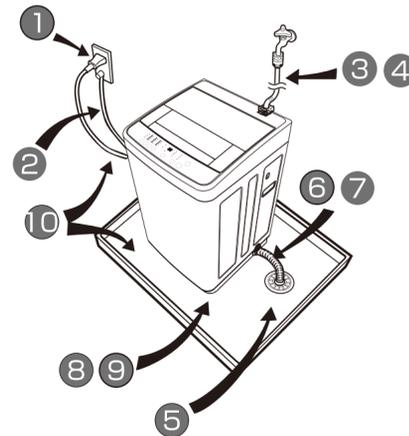
次のことは必ず実行していただく「強制」内容です。(火災・感電・けがの原因)

強制

- 交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使う
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
- 電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く

8. チェック項目

■設置が完了しましたら、チェック項目を確認してください。正しく設置できていないと異常振動・騒音や水漏れの原因になります。



電源コード

1 交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使っていますか? コンセントのゆるみや電源コード・プラグの傷みはありませんか?

アース線

2 アース線は取り付けられていますか? 感電防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

給水ホース

3 水栓や本体の給水ホース接続部に水漏れはありませんか?

4 にこった水が出ませんか?

5 排水口に糸くずなどのゴミがたまっていませんか? 排水口は定期的にチェックしてください。

6 排水口が本体の下にある以外で、排水ホースが本体の下に入っていませんか? また、よじれ、つぶれはありませんか?

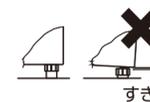
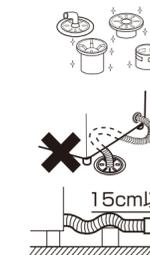
7 排水ホースが15cm以上持ち上がっているところはありませんか?

本体

8 本体の対角線上の角を押ししたときにガタつきがありませんか?

9 脚ナットはしっかり締まっていますか?

10 試運転で異常音や水漏れはありませんか? 正常に排水されていますか? (電源コード、アース線、ホースが本体に接触していませんか?)



9. 試運転の実施

■「洗い」「脱水」の運転の確認

1. 電源プラグを差し込み、水栓を開き、給水ホースや接続部から水漏れがないことを確認します。
2. ふたを閉め、電源「オートオフ」ボタンを押して電源を入れ、「スタート/一時停止」ボタンを押します。
3. バルセーターが左右に回転し、水位を表示し、給水が始まります。(給水終了後ふたがロックされます)
4. 約5分間運転し、異常音、水漏れがないことを確認します。「スタート/一時停止」ボタンを押し、ふたロックが解除されることを確認します。
5. 電源「オートオフ」ボタンを押し、電源を切ります。
6. 電源「オートオフ」ボタンを押し、電源を入れます。
7. ふたを閉めて「脱水」ボタンを押し、「スタート/一時停止」ボタンを押します。ふたがロックされます。
8. 排水が始まります。排水口、排水ホースから水漏れがないことを確認します。
9. 脱水を約3分間運転し、異常音、異常振動がないことを確認します。
※モーターは通電による制御をするため、モーター音が一定ではありませんが、異常ではありません。
10. 「スタート/一時停止」ボタンを押し、ふたロックが解除されることを確認します。「スタート/一時停止」ボタンを押してから、ふたロックが解除されるまで、約70秒かかります)
11. 電源「オートオフ」ボタンを押し、電源を切ります。

据付説明書

家庭用 全自動洗濯機
型番:SW-K45A/SW-K55A

1. 本体運搬のご注意

■本体前面にヒザを当てて運ばないでください
 外箱前面が変形するおそれがあります。



■衣類投入口を持って運ばないでください
 プラスチック部品が破損するおそれがあります。



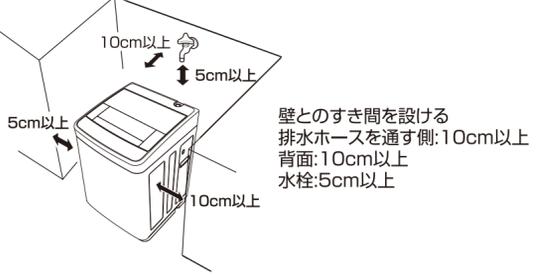
■本体を引きずって移動しないでください
 床を傷つけたり、脚がはずれたりすることがあります。
 また、移動中に振動・異常音がるおそれがあります。



2. 設置場所の確認

■据え付けに必要な寸法の確認

本体は前面や上面を50cm以上開放して、背面と側面を壁から下図の寸法以上離します。壁面とのすき間が狭いと、壁との接触による異常音の原因となります。排水ホースを通す側の側面は、壁から10cm以上離してください。異常な振動や音を防ぐためです。



警告

水のかかりやすい場所や、湿気が多い場所に置かない。
 漏水による火災・感電の原因となります。

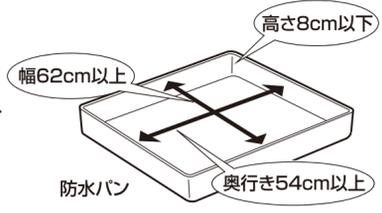
●ベランダ、庭など風雨にさらされる場所におかない。
 ●浴室など湿気が多い場所におかない。

水場での使用禁止

■防水パンの寸法の確認

防水パンに設置する場合は、内寸の幅62cm以上、奥行き54cm以上が必要です。

●防水パンがなく木床などに直接据え付ける場合や室温が低いときや、湿度が高いときに冷水などを使って洗濯する場合に、洗濯機の内側が結露し、床面をぬらすことがあります。市販の「洗濯機トレー」のご使用をおすすめします。



■排水口の確認

排水ホースを取り付ける前に、排水口を掃除してください。

●排水口には糸くずやよごれがたまりやすく、放置しておくと、水漏れや排水不良、悪臭の原因になります。



■安定した水平な床に据え付けてください。

次の場所には据え付けしないでください。

- 冬季に凍結するおそれがある場所。
- 直射日光のあたる場所。プラスチック部品の色や形が変わることがあります。
- 発熱器具の近くや有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）を扱う場所。
- ベランダや強度の弱い床、タイルの床などのすべりやすい場所。振動や騒音が大きくなったり、途中で止まる原因になります。
- ブロックや角材、レンガの上など不安定な場所。振動や騒音が大きくなります。

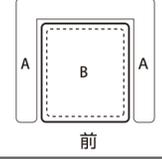


据え付けをされるかたへ

- 製品の機能が十分に発揮されるように、この据付説明書の内容にそって正しく据え付けてください。
- 据え付け終了後、「8. チェック項目」で確認してください。
- 据え付け終了後、「9. 試運転の実施」を必ず実施してください。
- この据付説明書は据え付け終了後、お客様にお渡しください。

3. 排水口の位置と設置方法

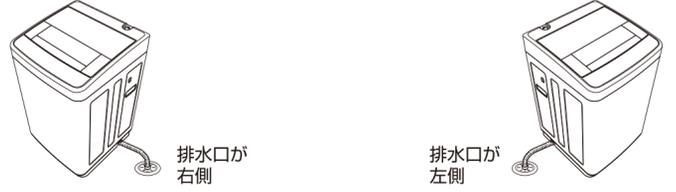
■排水口の位置の確認



A: 排水口が本体の右側、左側にある場合そのまま排水ホースを排水口に接続します。

B: 排水口が本体の下にある場合、真下排水パイプと高さ調整板を使用して排水口に接続します。

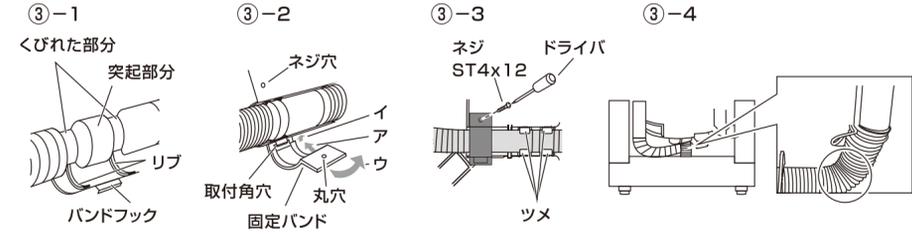
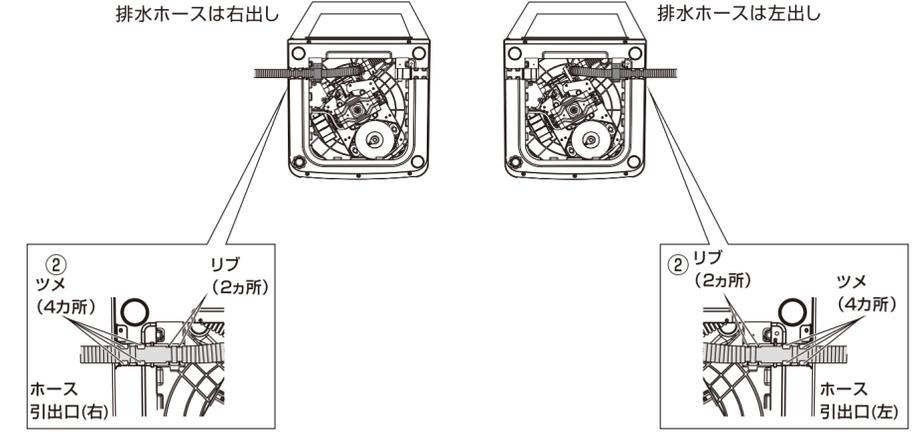
A: 排水口が本体の右側、左側にある場合



■排水ホースは、工場出荷時には右出しになっています。

排水ホースを左出しに付け替えた後、排水口に取り付けます。

- 1 本体の前面を下にして、ダンボールなどの上に寝かせる。
- 2 本体のネジや固定バンドやツメ(4カ所)から排水ホースをはすす。
- 3 排水ホースを本体右側のくぼみにはめ込む。
 - 排水ホースの突起部分を両リブの間に合わせを確認してください。
 - 固定バンドの下部取付角穴を本体のバンドフックに嵌めることを確認してください。
 - 排水ホースがツメの内側にあることを確認してください。
 - 排水ホースが本体内部でねじれていないか確認してください。



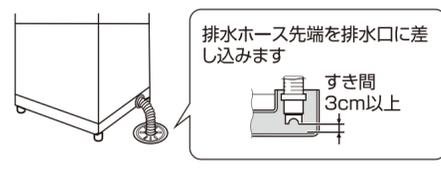
■排水口への取り付け

- 《排水口にエルボがある場合》
 エルボに排水ホースを差し込みます。
- ホースのこすれに注意してください。ホースに穴が開き水漏れを起こすおそれがあります。
- 《排水口にエルボがない場合》
 排水ホースの先端を排水口に差し込みます。
- 排水ホースの先端のスリーブは、ホースの先端にすき間を設けるものです。はずさないでください。
- ※必ずホースバンドで固定してください。エルボと排水ホースのかん合がゆるい場合は、エルボを交換してください。(お買い上げの販売店にご相談ください)

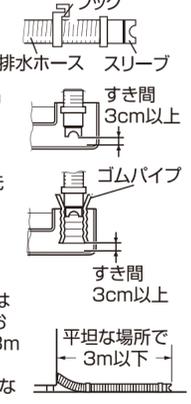
お客様へ

●この据付説明書は、据え付け後も「取扱説明書」と共に大切に保管してください。(引越しや排水口の点検など、本体を移動するときが必要です)

3. 排水口の位置と設置方法(つづき)



- 排水ホースを排水口に差し込むときは、フックをずらしませす。
- ホースの先と排水口の底に3cm以上のすき間を設けてください。
- 防水パンの場合、ゴムパイプの先に3cm以上のすき間を設けてください。



■排水ホースの処理

- 引き回しによって、排水ホースが途中でよじれたり、高くならないようにしてください。

●敷居などで、排水ホースが高くなると排水できないことがあります。15cm以下にしてください。

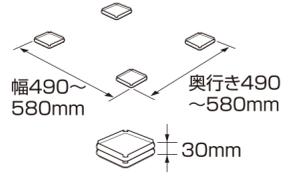
●排水ホースの長さは調節可能が伸縮ホースです。適切な長さにしてください。

- 排水ホースの延長
- 排水ホースを延長したいときは市販の「排水延長ホース」をお使いください。平坦な場所で3mまで延長できます。
- ホースは水が流れやすい平坦な場所に置いてください。

B: 排水口が本体の下にある場合

■高さ調整板の使いかた

1. 高さ調整板を貼り付ける床面、または防水パン上の水、ホコリなどをきれいに拭き取る
2. 高さ調整板の両面テープの紙をはがしてから床面、または防水パン上に固定する
 - 高さ調整板の外周壁内寸が、幅490mm～580mm、奥行き490mm～580mmの位置に固定してください。
 - 高さ調整板は2枚まで重ねることができます。設置場所に応じて調整してください。1枚で15mm、2枚で30mmの高さ調節が可能です。
 - 高さ調整板は、3枚以上重ねないでください。

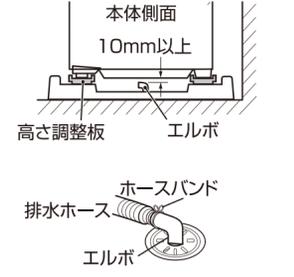


■排水口への取り付け

- ホースのこすれに注意してください。ホースに穴が開き水漏れを起こすおそれがあります。
- 本体に排水ホースが触れないように設置してください。

①《排水口にエルボがある場合》

- エルボの上面と本体底面が10mm以上確保できるように市販の「高さ調整板」を使って高さを調整する
- 台付き防水パンがない場合は、高さ調整板が2枚必要です。
 - 必ずホースバンドで固定してください。エルボと排水ホースのかん合がゆるい場合は、エルボを交換してください。(お買い上げの販売店にご相談ください)



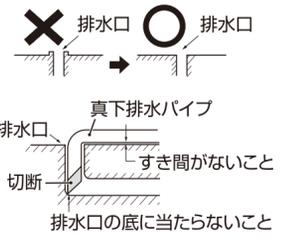
《排水口にエルボがない場合》

- 市販の「真下排水パイプ」と「高さ調整板」を使って排水口に接続する
- 排水ホースを真下排水パイプに取り付け、排水口に確実に取り付けてください。
 - 真下排水パイプは浮かないように取り付けてください。排水異常や異常音の原因となります。
 - 排水ホースはたるまないように調整してください。また、重ねたり、折り曲げたりしないでください。



② 真下排水パイプを排水口の深さに合わせて調整する

- 真下排水パイプは、設置場所に合わせた長さのものをご用意ください。
- 排水口が床面より上に出ているときは、床面と同じ高さになるまで排水口を切断してください。
- 真下排水パイプが排水口の底に当たるときや、排水口の底との間にすき間がないときは、真下排水パイプ先端を切り、調整してください。



③ 真下排水パイプと排水ホースを接続する

- 真下排水パイプの外周と排水ホースの内周に、真下排水パイプ付属の接着剤を均等に塗り、差し込んだ後、ホースバンドで固定してください。

